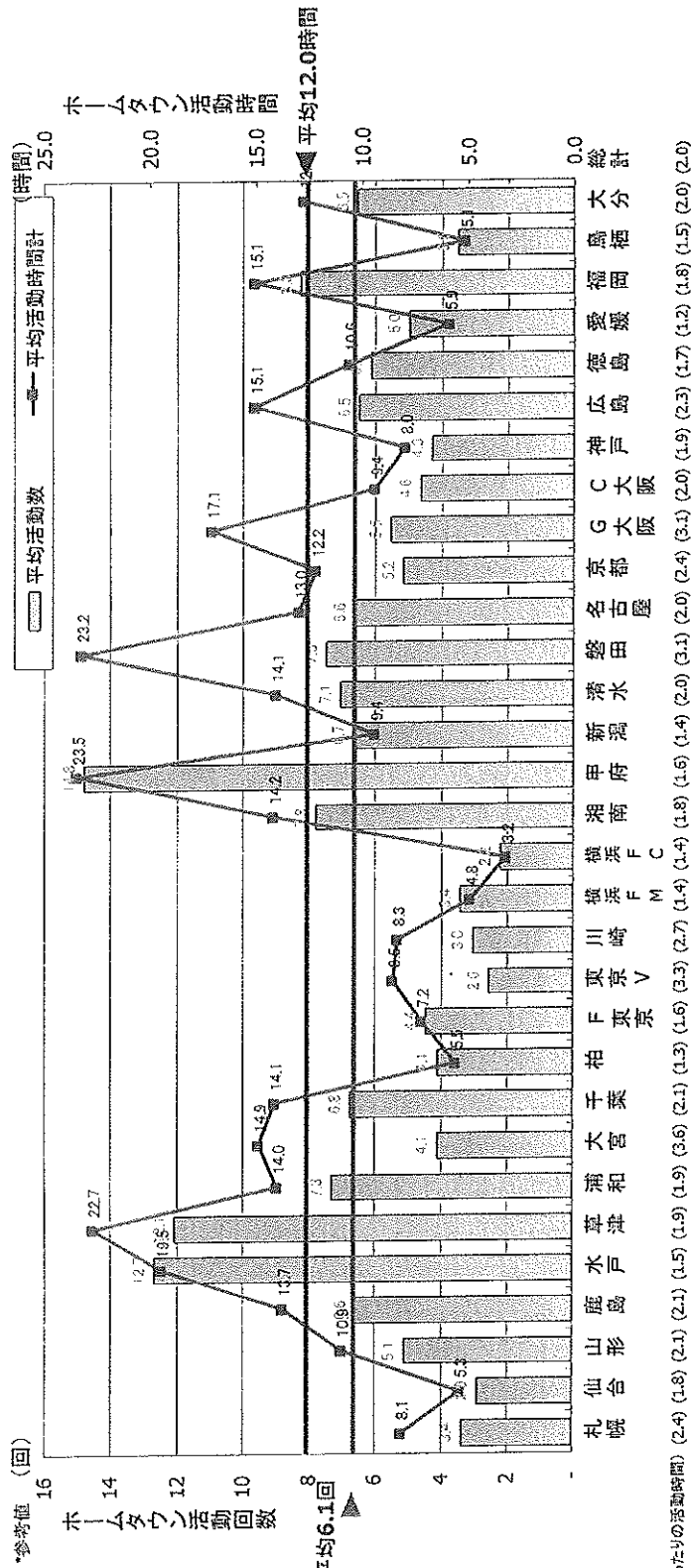


# 選手活動分布 (活動数 × 活動時間)

平均活動時間と活動回数(→1回当たりの活動時間)のクラブ間比較  
 ⇒各クラブが他のクラブと活動量や全体の活動傾向を比較

- ・「甲府」は平均活動数、平均活動時間ともに、31クラブ中トップ。
- ・1回の活動が長時間なのは、「大宮」、「東京V」、「磐田」、「G大阪」。
- ・一方、1回の活動が短時間なのは、「柏」、「横浜FM」、「横浜FC」、「新潟」、「愛媛」、「鳥栖」。



日本経済新聞 2007年(平成19年)7月18日(水曜日)

**Jリーグが地域活動調査**  
 Jリーグは十七日、全31クラブが二〇〇六年シーズンに行った地域活動についての調査結果を発表した。〇三年から調査していたが、まどめたのは初めて。全クラブの活動総数は1340回、約2424・9時間、1クラブ平均43回、月6・5時間だ。サッカー教室、サイン会、学校訪問、商店街イベントなどへの参加が多い。活動数、時間ともにトップは甲府だった。参加者の総数は980人で、一人平均6・2回、12・2時間。1試合の平均出場時間が0・20分の選手が全体の四分の一を占めた。